あっ、じしん！ そのとき、あなたは？

名前（　　）

地震はいつ、どこで発生するか分かりません。様々な場面でどのように行動すればよいのか、普段から考えておくことが、いざというときにあなたの身を守ります。どんなときでも、①「落ちついて」 ②「頭を守りながら」 ③「危険なところからはなれる」ことが大切です。

学校にいるときは

●教室にいたら、机の下にもぐり足をしっかり押さえて小さくかがむ。

●廊下や階段にいたら、近くの教室に逃げ込むか、ロッカーや窓ガラスからはなれて小さくかがむ。

●体育館やグラウンドにいたら、落ちてくる物に注意しながら真ん中に集まり小さくかがむ。

●避難するときは、さわがず落ちついて先生の指示にしたがう。

家にいるときは

●家具などからはなれて、テーブルや机の下にかくれる。（ゆれが大きく動けないときは、小さくかがみこんで頭を守る。）

●寝ているときは、布団やベッドの下にかくれ、枕などで頭を守る。（普段からたおれやすい物の近くでは寝ないようにする。）

●あわてて外に飛び出さない。

●ゆれがおさまってから、火やガスの始末をする。

登下校中や外にいるときは

●ブロックべいや電柱、自動販売機など、危険な物からすぐにはなれる。
●ガラスや看板など、落ちてくる物に注意し、せまい道は逃げ場がないので通らない。
●電車やバスに乗っていたら、手すりなどにしっかりつかまり、停車したら乗務員の指示に従う。
●海の近くでは津波が発生することがあるので、すぐにその場をはなれ、できるだけ高い場所に逃げる。

まさかの時の連絡先

高松市立川東小学校
高松市香川町川東上1865番地8

TEL８７９－２０１２　Fax８７９－０５５６　E-mail e-kawahi@edu-tens.net

おうちの人とのやくそく

スマホもメールもだめになったら、おうちの人と連絡がつかなくなります。

１　そんなときの家族の集まるところは、

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿です。

２　登下校時に地震があった時、家にもどる（帰る）・学校に行く（もどる）のさかいめは、

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿をめじるしにします。